

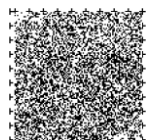
# 障害福祉サービス等ニーズ調査 結果報告書《概要版》



## 目次

「第4次釧路市障がい者福祉計画（は～とふるプラン）」の中間年にあたり、障がいのある方の生活実態や障害福祉サービス等のニーズを把握し、各種施策の基礎資料として活用するため、アンケート調査を実施したものです。

1 調査の概要.....	1
2 障害福祉サービス等ニーズ調査.....	2
1. 障害福祉サービスについて.....	2
2. 災害時の対応等について.....	5
3. 障がい者及び介護者の高齢化について.....	6
4. 教育機関.....	8
5. 医療機関等.....	8
6. 支援団体等.....	9
7. 自由記載欄の主な意見.....	10
3 医療的ケアを必要とする児・者に関する調査.....	11
1. 医療的ケアを必要とする児・者の状況.....	11
2. 自由記載欄の主な意見.....	16



# 1 調査の概要

## 1. 障害福祉サービス等ニーズ調査

調査対象	関係団体60団体		
	《内訳》当事者及び家族会	27団体	事業所 12団体
	関係機関等	4団体	教育機関 2団体
	医療機関等	8団体	支援団体等 7団体
調査方法	Webアンケート調査		
調査期間	令和3年7月26日（月）～8月31日（火）		
回収数	57団体		
回収率	95.0%		

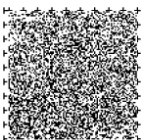
## 2. 医療的ケアを必要とする児・者に関する調査

調査対象	医療的ケア児・者 34名（令和3年4月1日現在）
調査方法	Webアンケート調査
調査期間	令和3年7月26日（月）～8月31日（火）
回収数	19名
回収率	55.9%

## 3. この報告書の見方

本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要があります。

- (1) 図表中の「n」は、各設問の回答者数を示します。
- (2) 調査結果の比率は、nを基数として比率を算出し、小数点以下第2位を四捨五入して第1位まで示しました。従って、すべての選択肢の比率を合計しても100%にならない場合があります。  
また、比率が0%または100%の場合は、小数点以下の表示を省略した場合があります。
- (3) 複数回答の設問においても、nを基数として比率を算出しているため、すべての選択肢の比率の合計は、通常100%を超えます。
- (4) 各ページの右下、左下に音声コードを印刷しており、Uni-Voice アプリを入れたスマートフォン等で報告書に記載の文章を音声で聞くことができます。



## 2 障害福祉サービス等ニーズ調査

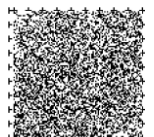
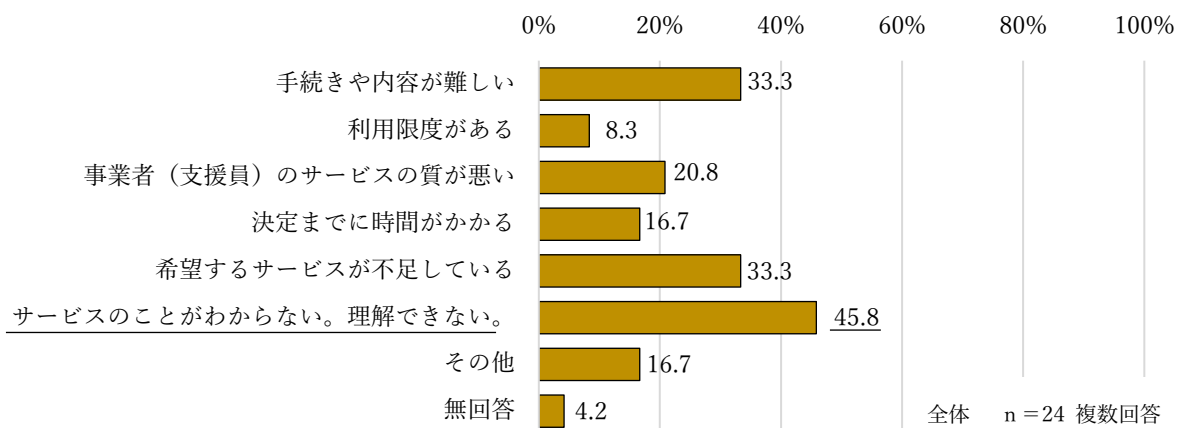
### 1. 障害福祉サービスについて

#### (1) 障害福祉サービス等の利用にあたり困っていること

「サービスのことがわからない。理解できない。」が 45.8%と最も高く、次に「手続きや内容が難しい」、「希望するサービスが不足している」が 33.3%となっています。

#### 〈施策の主な方向性〉

- わかりやすい情報の提供
- 相談支援の充実



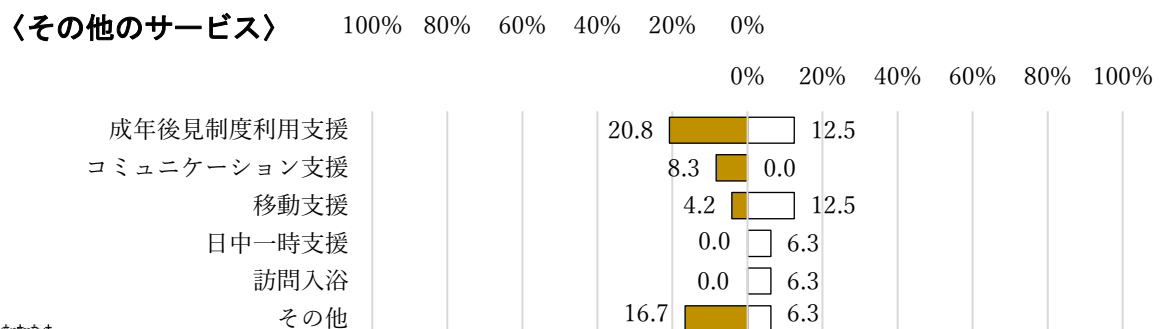
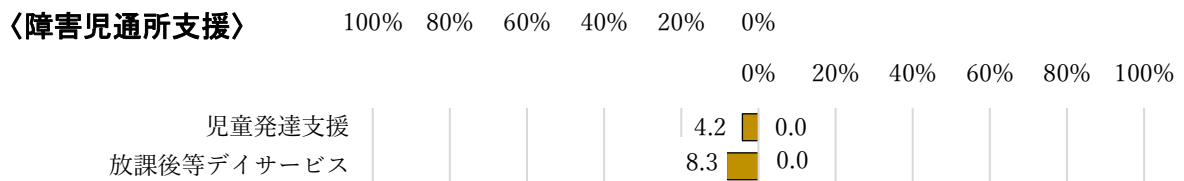
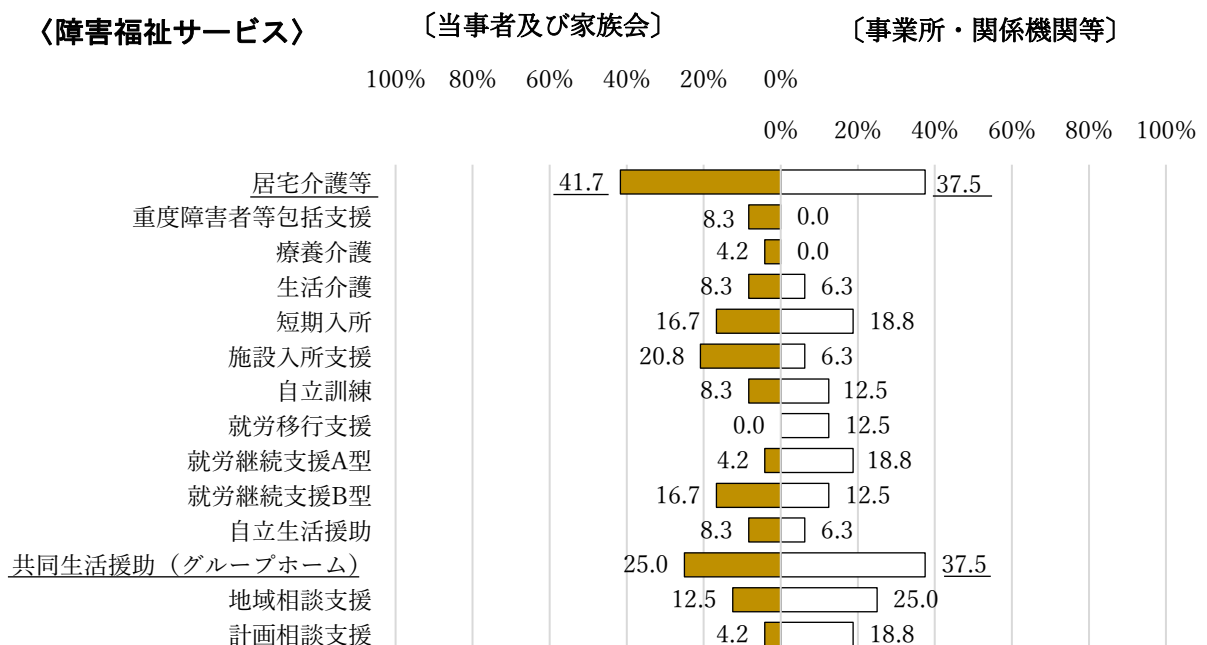
## (2) 今後、特に必要になると思う障害福祉サービス等

当事者及び家族会は、「居宅介護等」が41.7%と最も高く、次に「共同生活援助（グループホーム）」が25.0%となっています。

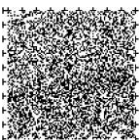
事業所・関係機関等は、「居宅介護等」、「共同生活援助（グループホーム）」が37.5%と最も高く、次に「地域相談支援」が25.0%となっています。

### 〈施策の主な方向性〉

- ニーズに応じたサービス提供体制の確保



当事者及び家族会 n = 24 事業所・関係機関等 n = 16  
 ※居宅介護等：居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護

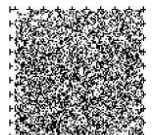
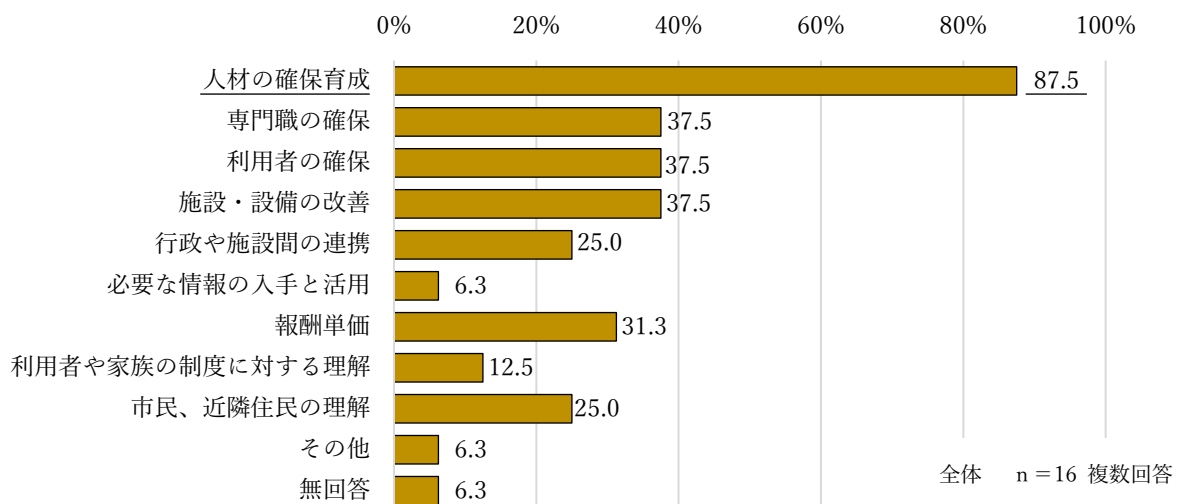


### (3) 事業所・関係機関等が、障害福祉サービス事業所を運営していく上での課題

「人材の確保育成」が87.5%と最も高く、次に「専門職の確保」、「利用者の確保」、「施設・設備の改善」が37.5%となっています。

#### 〈施策の主な方向性〉

##### ○ 研修等の情報提供及び研修機会の確保



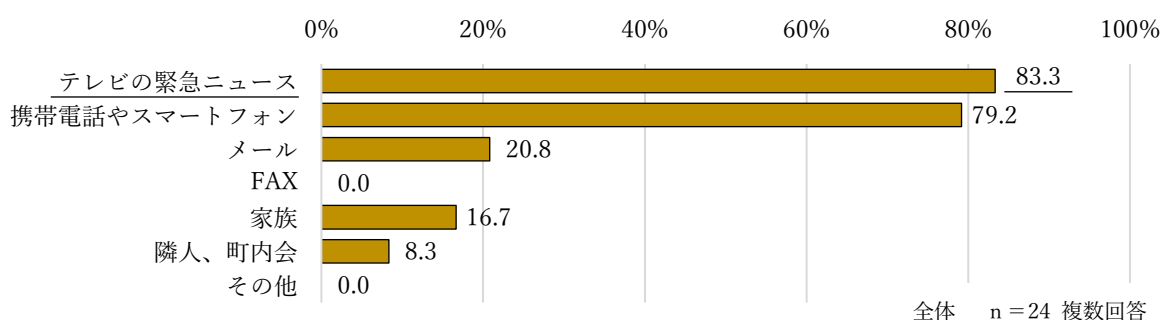
## 2. 災害時の対応等について

### (1) 災害時に情報を入手する方法

「テレビの緊急ニュース」が83.3%と最も高く、次に「携帯電話やスマートフォン」が79.2%となっています。

#### 〈施策の主な方向性〉

- 効果的な情報提供と活用

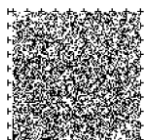
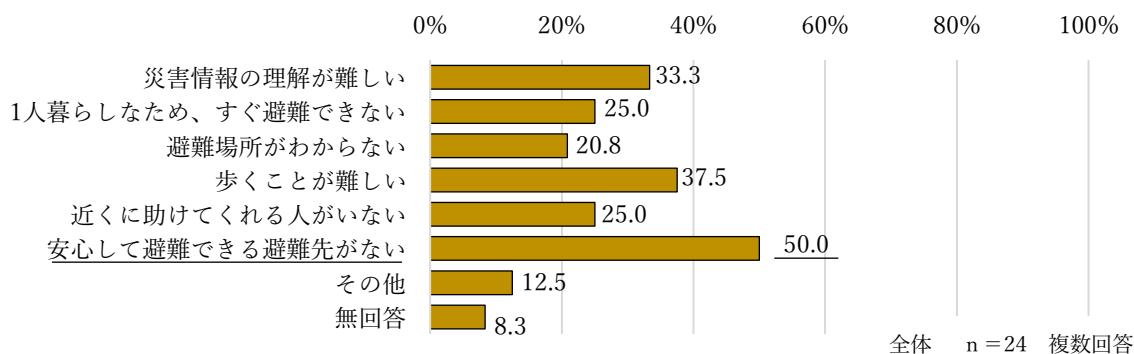


### (2) 災害時の避難における課題

「安心して避難できる避難先がない」が50.0%と最も高く、次に「歩くことが難しい」が37.5%となっています。

#### 〈施策の主な方向性〉

- 避難所での福祉支援
- 災害情報の理解の向上



### 3. 障がい者及び介護者の高齢化について

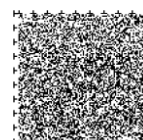
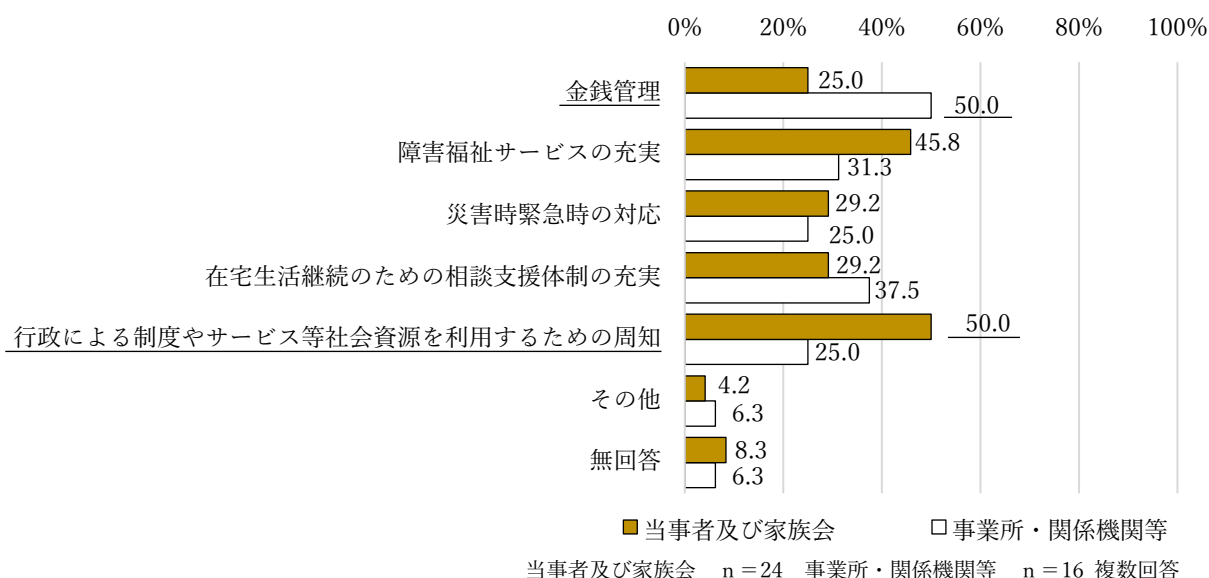
#### (1) 高齢化における課題

当事者及び家族会は、「行政による制度やサービス等社会資源を利用するための周知」が50.0%と最も高く、次に「障害福祉サービスの充実」が45.8%となっています。

事業所・関係機関等は、「金銭管理」が50.0%と最も高く、次に「在宅生活継続のための相談支援体制の充実」が37.5%となっています。

#### 〈施策の主な方向性〉

- わかりやすい情報提供
- 成年後見制度利用支援の推進



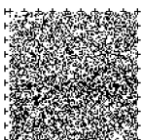
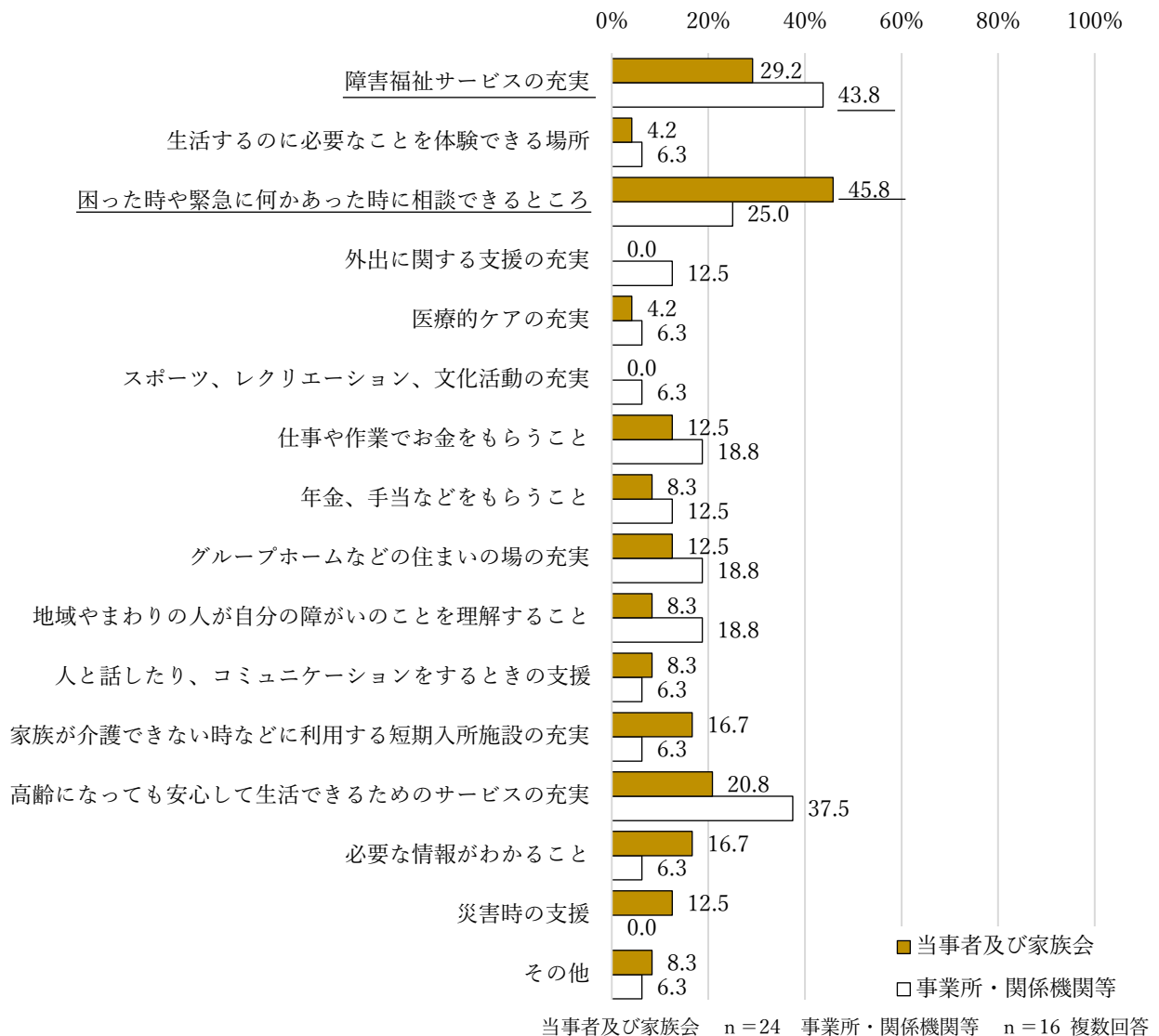
## (2) 希望する生活をするために必要な支援等

当事者及び家族会は、「困った時や緊急に何かあった時に相談できる場所」が45.8%と最も高く、次に「障害福祉サービスの充実」が29.2%となっています。

事業所・関係機関等は、「障害福祉サービスの充実」が43.8%と最も高く、次に「高齢になっても安心して生活できるためのサービスの充実」が37.5%となっています。

### 〈施策の主な方向性〉

#### ○ 地域生活支援拠点等事業の推進





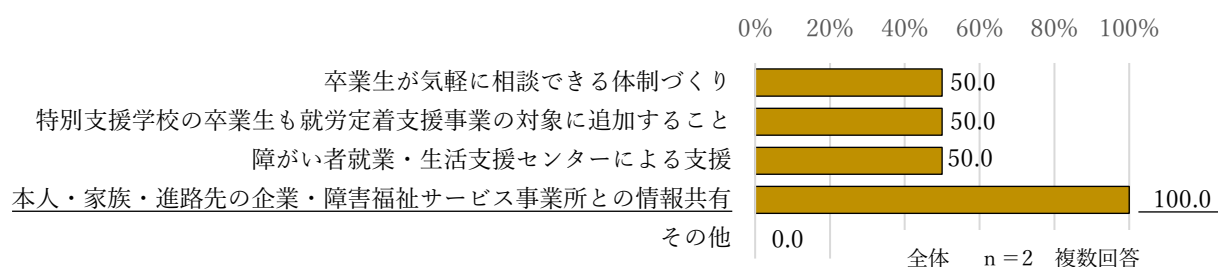
## 4. 教育機関

### (1) 卒業後の進路を決めるために特に必要な支援

「本人・家族・進路先の企業・障害福祉サービス事業所との情報共有」が100.0%と最も高く、次に「卒業生が気軽に相談できる体制づくり」、「特別支援学校の卒業生も就労定着支援事業の対象に追加すること」、「障がい者就業・生活支援センターによる支援」が50.0%となっています。

#### 〈施策の主な方向性〉

- 障がい者自立支援協議会の開催
- 相談支援の充実



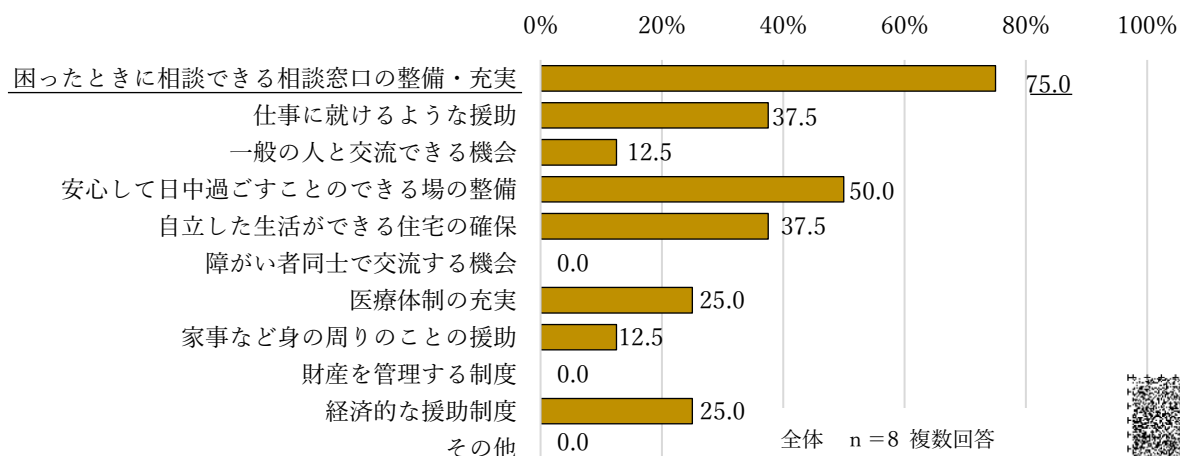
## 5. 医療機関等

### (1) 精神障がいがある方が地域移行するために必要な支援

「困ったときに相談できる相談窓口の整備・充実」が75.0%と最も高く、次に「安心して日中過ごすことのできる場の整備」が50.0%となっています。

#### 〈施策の主な方向性〉

- 相談支援の充実



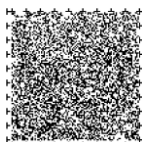
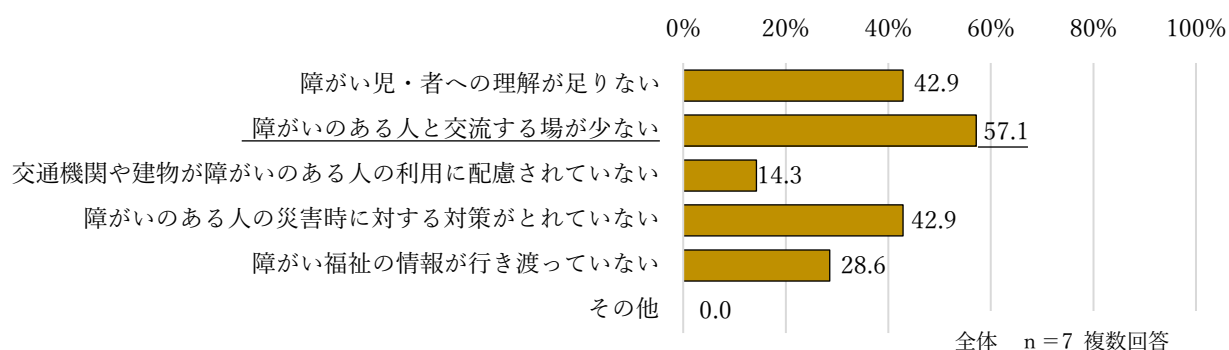
## 6. 支援団体等

### (1) 活動を通じて課題と感ずること

「障がいのある人と交流する場が少ない」が57.1%と最も高く、次に「障がい児・者への理解が足りない」、「障がいのある人の災害時に対する対策がとれていない」が42.9%となっています。

#### 〈施策の主な方向性〉

- 社会参加促進事業の推進
- 障害者差別解消法の周知・啓発



## 7. 自由記載欄の主な意見

主な意見は次のとおりです。（文章は要約しています。）

### ■障害福祉サービス等についてのご意見

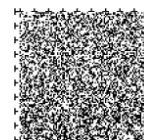
- ・自分で通院できない者への通院支援の拡充。
- ・個人情報の取扱いに関して勉強不足であると感じる。
- ・障がい特性に理解のある支援の質の向上を望みます。
- ・乳児期から高齢期まで一貫した支援のため、縦と横のつながりを深めてほしい。
- ・どのようなサービスがあるのかわからない。
- ・手続き等に関してイラストを用いたわかりやすいガイドブックがあるといい。
- ・楽しみを持って生き生きと生活できるような福祉サービスであってほしい。
- ・金銭面の援助や一人で生活するための制度の充実を希望。
- ・就労の場をもう少し増やして欲しい。
- ・「障がい者（難病を含む）の見守り・声掛けのサポート事業」の創設を期待します。
- ・重度の障がい者が、サービスを組み合わせて併用して利用できるようにして欲しい。

### ■災害時の避難に対する課題を解消するための支援

- ・一人一人の情報をまとめたものを地域で共有できるとよい。
- ・個別の区切られた空間があると助かる。
- ・それぞれの障がい程度に応じた対応が必要。
- ・避難の際、移動が非常に難しいことから移動手段を含めた対応が必要。

### ■障がい者及び介護者の高齢化に関するご意見

- ・高齢になっても安心して生活できるためのサービスの充実
- ・家庭毎のケース検討の充実が必要と思われます。
- ・家族等への体力的、精神的負担の軽減支援策を含めた総合的な対応が必要。
- ・具体的に何ができるのか情報提供。

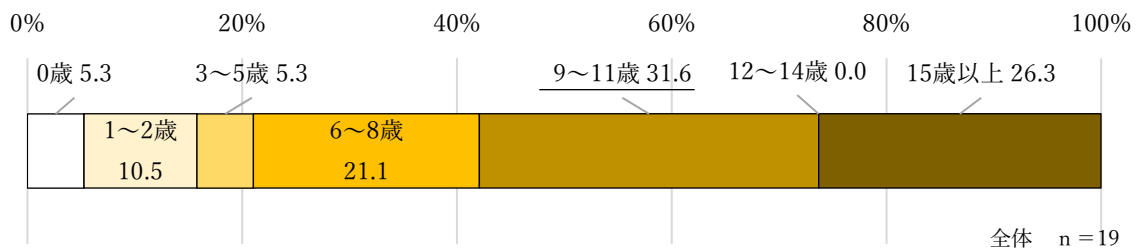


### 3 医療的ケアを必要とする児・者に関する調査

#### 1. 医療的ケアを必要とする児・者の状況

##### (1) 年齢

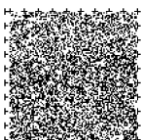
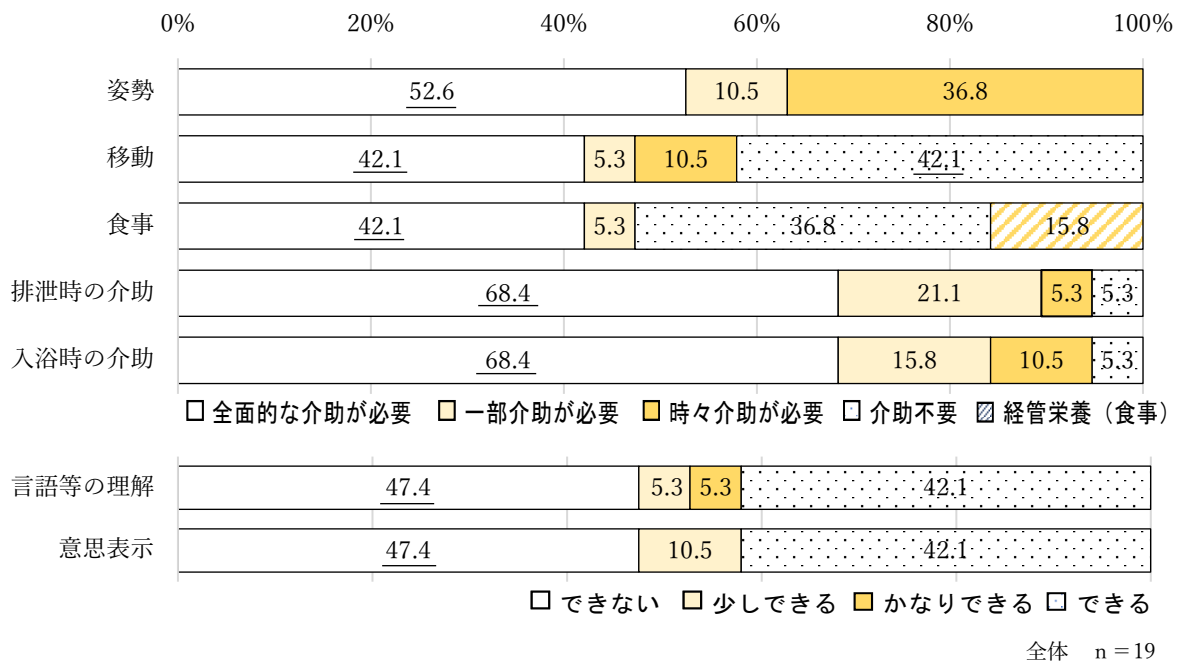
「9～11歳」が31.6%と最も高く、次に「15歳以上」が26.3%となっています。



##### (2) 日常生活の状態

日常的な介助の状況は、すべての項目において「全面的な介助が必要」が最も高くなっています。

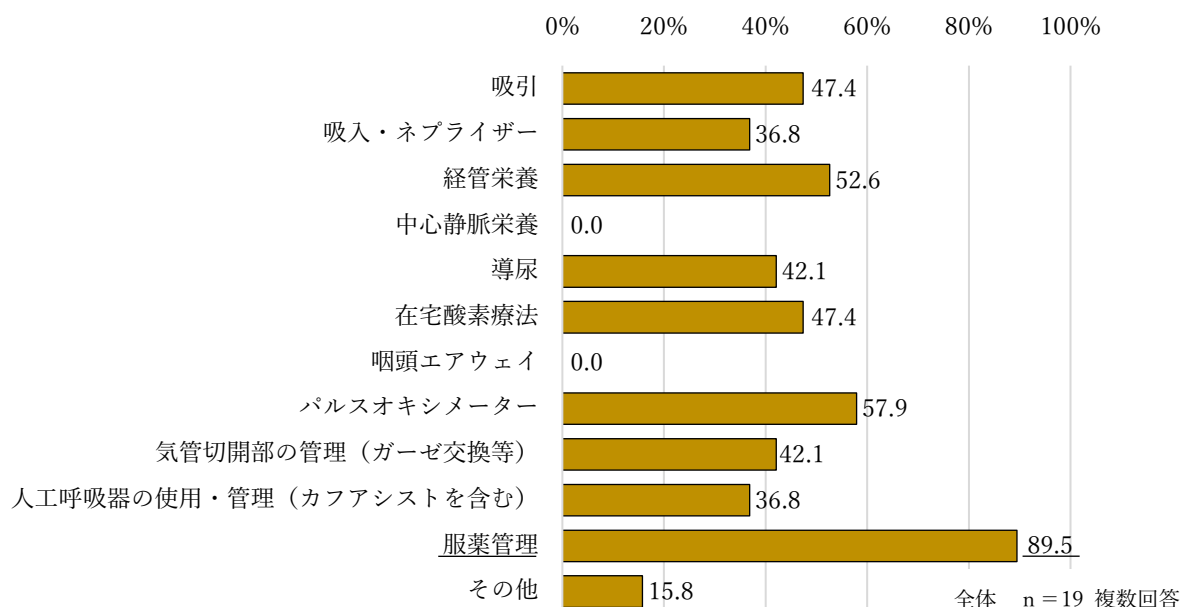
言語等の理解、意思表示は、どちらも「できない」が最も高くなっています。



### (3) 日常生活で必要とする医療的ケアの状況

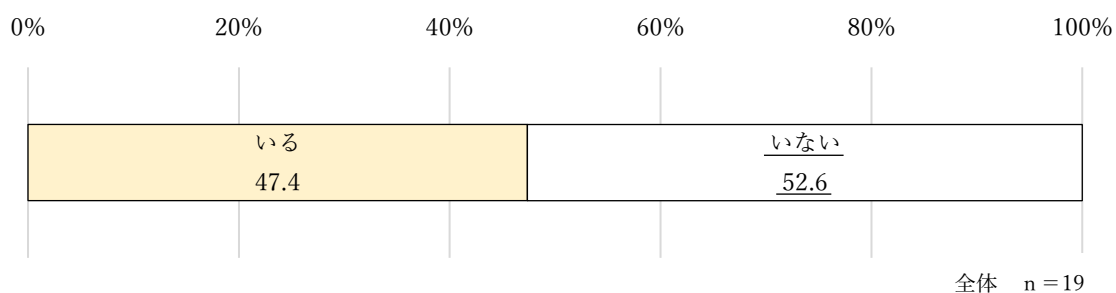
「服薬管理」が89.5%と最も高く、次に「パルスオキシメーター」が57.9%となっています。

「その他」の回答は、浣腸、リハビリとなっています。



### (4) 医療的ケアを依頼できる相手の有無

「いない」が52.6%と最も高くなっています。

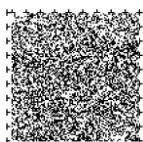
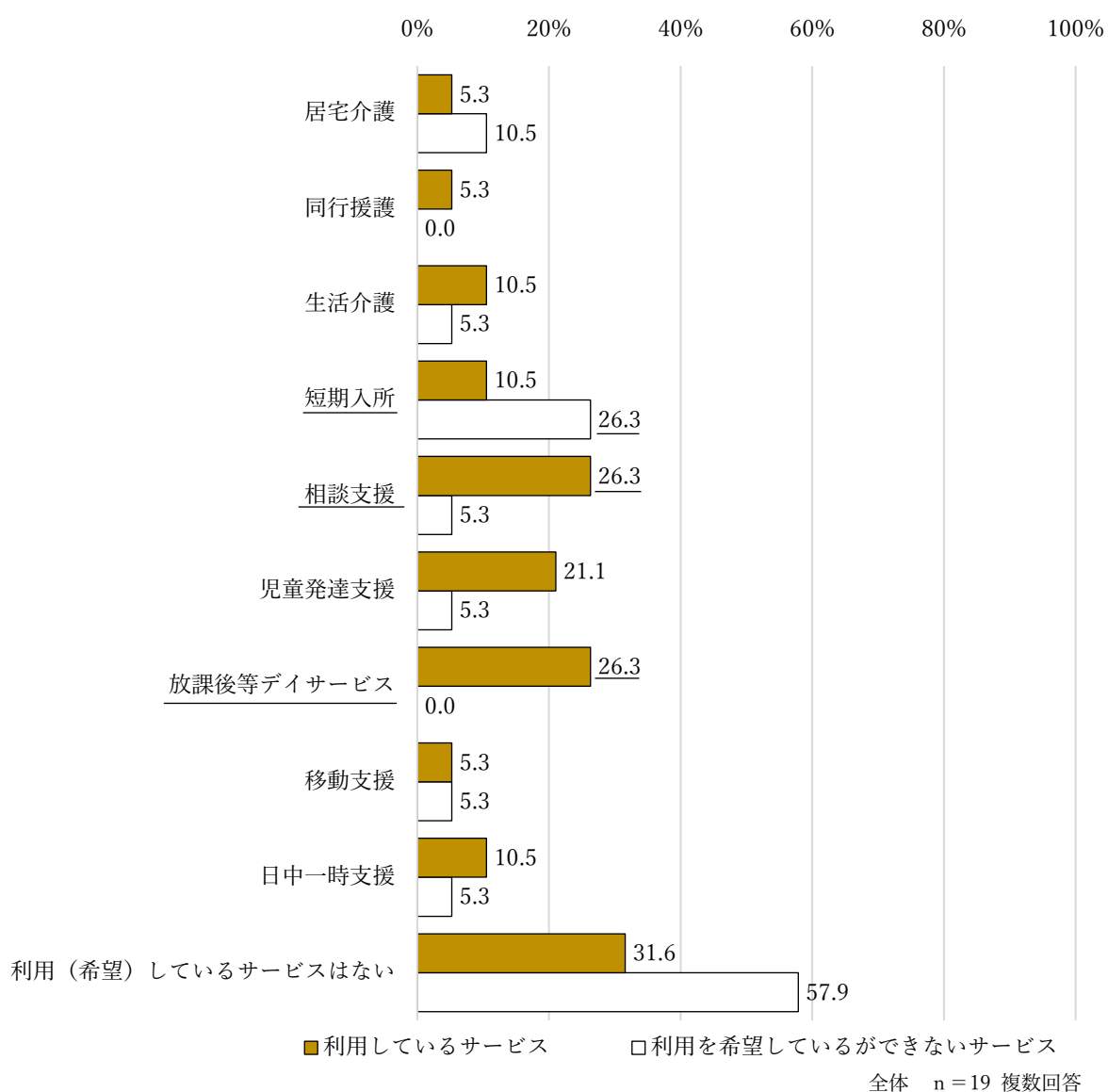


## (5) 利用しているサービスと利用を希望しているが利用できないサービス

利用しているサービスは、「利用（希望）しているサービスはない」が31.6%と最も高く、次に「相談支援」、「放課後等デイサービス」が26.3%となっています。

利用を希望しているができないサービスは、「短期入所」が26.3%と最も高く、次に「居宅介護」が10.5%となっています。

また、「利用（希望）しているサービスはない」が57.9%となっています。

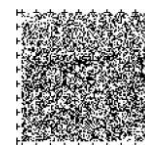
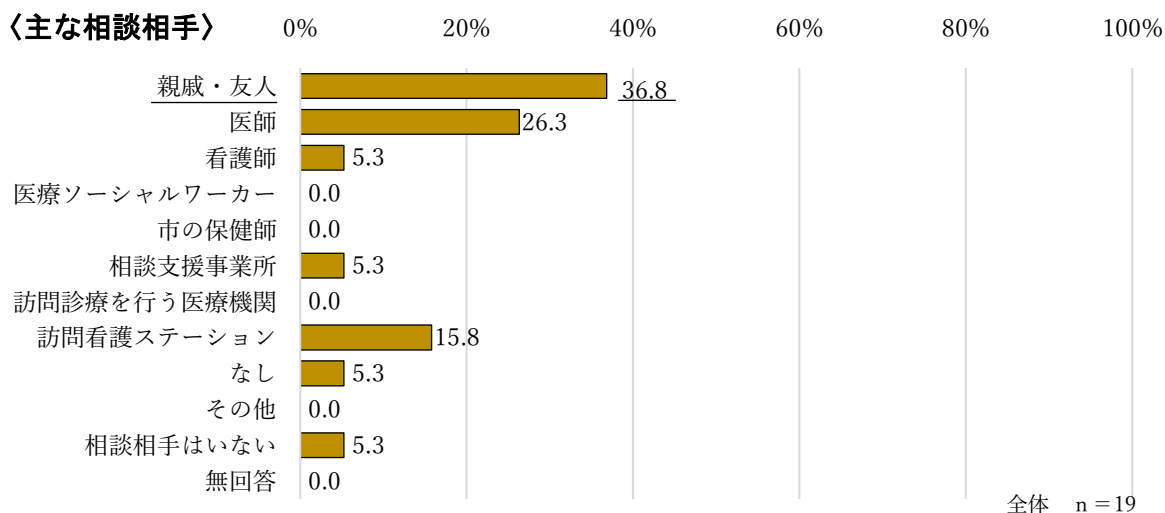
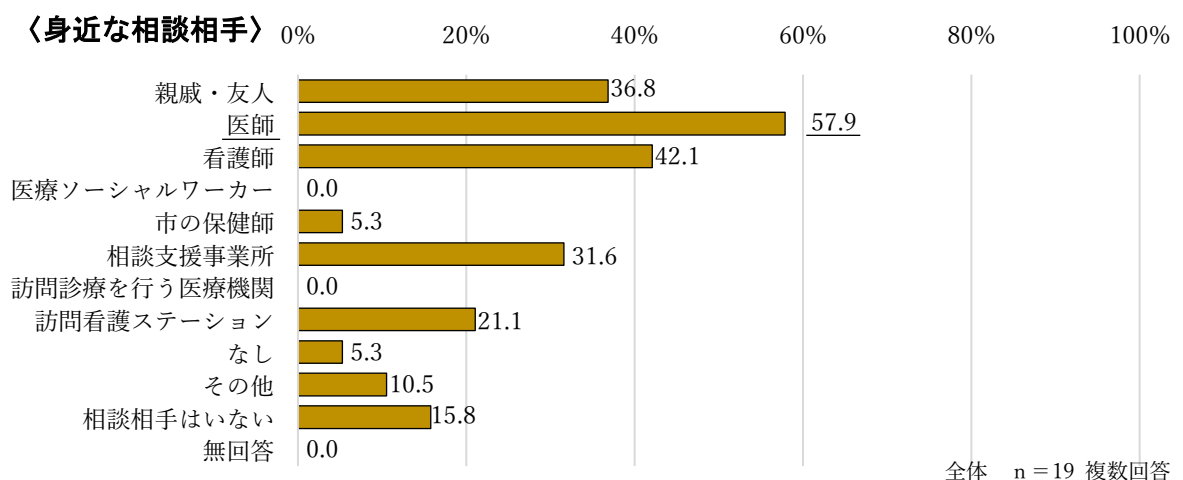


## (6) 身近な相談相手と主な相談相手について

身近な相談相手は、「医師」が57.9%と最も高く、次に「看護師」が42.1%となっています。

「その他」の回答は、「同じ病気の子を抱える家族」、「親や友人に相談しても、わからないことばかりなので解決にはならない」となっています。

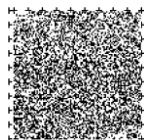
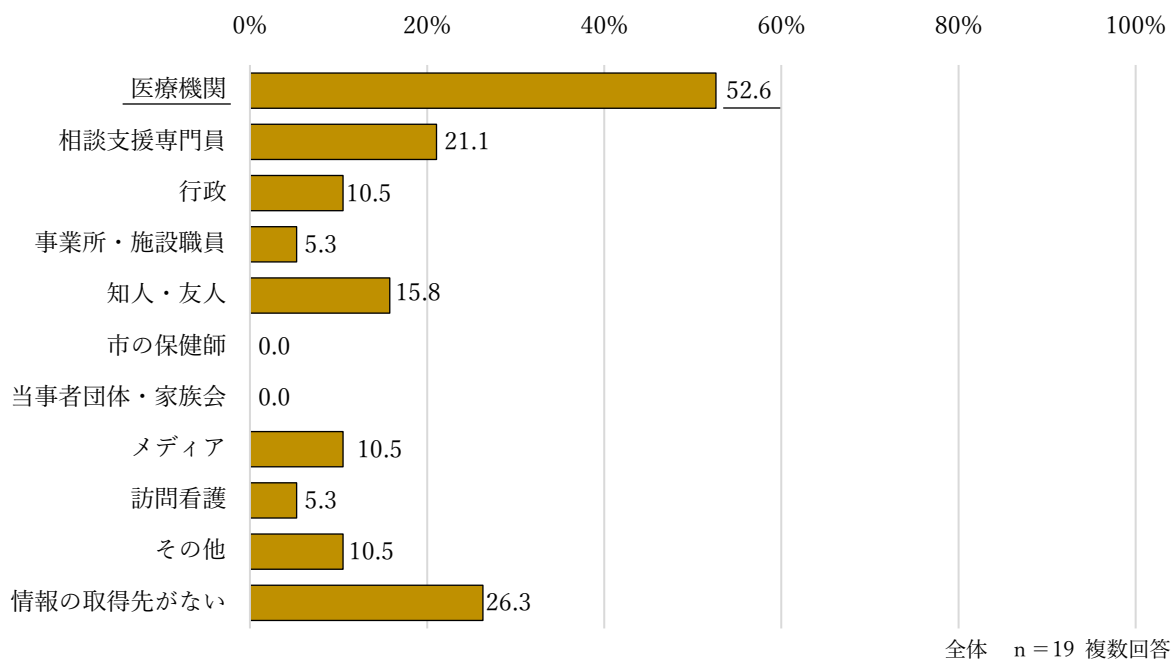
主な相談相手は、「親戚・友人」が36.8%と最も高く、次に「医師」が26.3%となっています。



## (7) 医療的ケアに関する支援サービスや制度の情報の取得方法

「医療機関」が52.6%と最も高く、次に「情報の取得先がない」が26.3%となっています。

「その他」の回答は、「自分達で調べる（他の市町村の状況など）」、「インターネット」となっています。





## 2. 自由記載欄の主な意見

主な意見は次のとおりです。（文章は要約しています。）

### ■退院時（在宅移行時）に困ったこと、支援が必要だったこと

- ・介護者へのサポートについて相談や支援となる窓口がなかった。
- ・在宅生活について情報不足で不安しかなかった。
- ・サービスがわからなかった。
- ・まわりに同じような立場で話せる人がいなかった。

### ■医療的ケアに関するどのような情報があれば良いか

- ・情報の内容でなく行政からの情報発信がない事が問題だと思う。
- ・オムツのサイズや種類、医療材料の購入場所と価格、カニューレバンドの作り方。
- ・子供がリハビリできる場所。
- ・短期入所等の情報。

### ■在宅で生活する上で、困っていること、大変だと感じていることについて

- ・家族にいつまで協力してもらえるか不安。
- ・停電の時、発電機やバッテリーなどがあると助かる。
- ・睡眠時間が取れない。病院にもいけない。家から離れられない。
- ・働けない。目を離せない。下の子の活動が制限されてしまう。
- ・導尿時間の管理。熱をだしたときや導尿で傷ついたり感染したときの対応。
- ・体が大きくなってきているため、介護全面的に大変になっている。
- ・訪問看護師の時間では足りない。短期入所か重度訪問介護があってほしい。
- ・パルスオキシメーターセンサーの値段が高くて負担になっている。

### ■今後必要なサービスや支援内容

- ・大規模災害が起こった場合の市や消防、警察等の連携を検討してほしい。
- ・ショートステイや一時預かりが可能な事業所の設立。
- ・発達支援センターを増やしてほしい。
- ・レスパイトや本人も慣れるためのお泊りの幅を広げて欲しい。
- ・通院による勉強のおくれを取り戻せるようにしてもらいたい。



- 学校の送迎。
- 病院が提供してくれる月一回のレスパイト以外の自由な時間がほしい。
- 車椅子利用者も無理なく楽しめる施設づくりと、その情報。
- 通所、通学の際の医療的ケアの見守り、手助け。
- 学校に看護師さんを常駐してほしい。

**■北海道胆振東部地震の際に困ったこと、今後行政に支援をお願いしたいこと**

- 人工呼吸器等の電源確保が確実にできること。
- 災害時に駆け込める病院の斡旋と病院への周知。
- 排泄ケアのための水の確保。
- 酸素ポンベの確保のため、業者に連絡したがつながらず困った。

